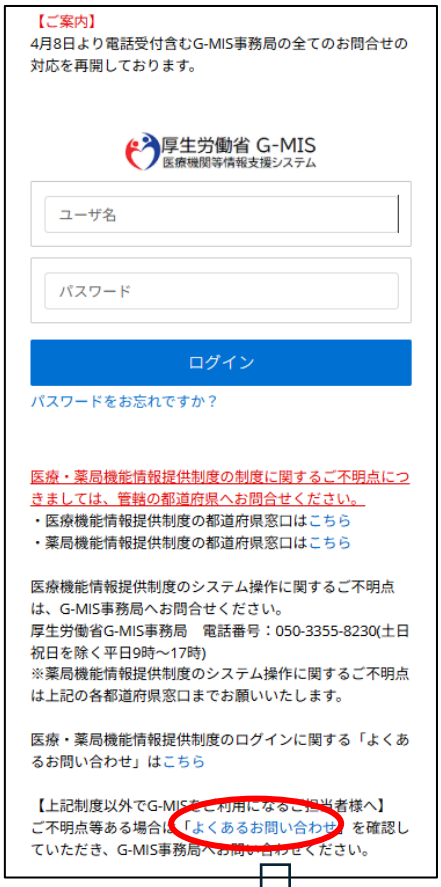
会員各先生
埼玉県医師会より「医療用手袋の備蓄放出に係る医療機関等情報支援システム（G-MIS）の活用に向けた準備について」周知依頼がございましたのでお知らせいたします。
草加八潮医師会

【参考】

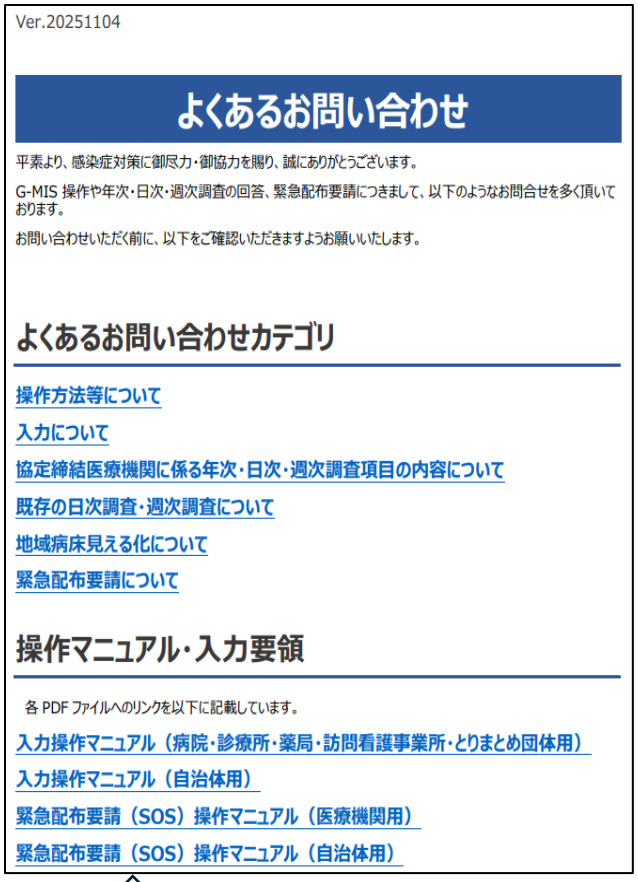
ID やログインパスワードの確認方法については、下記リンク先の G-MIS ログインページの下部に掲載している、「よくあるお問い合わせ」を御確認いただきますようお願いいたします。

（G-MIS ログインページ）
https://www.med-login.mhlw.go.jp/s/login

G-MIS ログインページをクリックすると以下にアクセスできます。



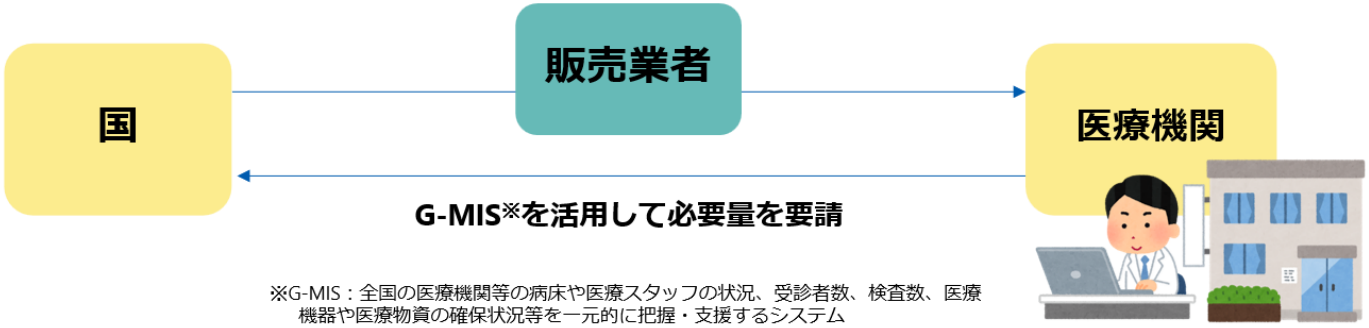
「よくあるお問い合わせ」をクリックすると右画面にアクセスできます。



中東情勢を踏まえた医療用手袋の備蓄の放出について

- 非滅菌手袋（ニトリル・PVC）を含めた個人防護具は、**新型インフル特別措置法に基づき、パンデミックの発生に備え備蓄を行っている**。
- このうち、**国では備蓄水準を超える量（余剰分）を確保**：**約４億９千万枚**
- 医療用手袋の需給状況は、現在、通常通りの発注には概ね対応できている（※）一方、一部では通常量を大幅に超える発注も見られ、結果として歯科診療所など**一部の医療機関では確保が困難**となっている。
  （※）主要販売メーカーは通常と同程度の１～２か月の在庫を持っている。
- このため、確保が困難となっている医療機関向けに、まずは、**5000万枚**（※）**を放出する**こととし、今後の供給状況を踏まえ、必要に応じ追加で放出していく。**配送可能な体制を５月中に整備**すべく手続きを進める。
  （※）全国の一般診療所及び歯科診療所の約1月分の需要は9000万枚程度と推計。

販売業者を通じ医療機関に手袋を放出



※G-MIS：全国の医療機関等の病床や医療スタッフの状況、受診者数、検査数、医療機器や医療物資の確保状況等を一元的に把握・支援するシステム